

条幅規定

師範 力岡 紫烽

一点一画に気魂を込め、形や全体のバランスも良く深みのある大胆な線が、存在感を増し、威風堂々たる作品となった。ただ、これに手本にない線種が加わると力岡ワールドが見えてくるであろう。

条幅随意(臨書)

師範正 樋口 卓也

少し右上がりになりながら、原拓をよく観察し流れも良く、作品に生命感を感じる。今後は形臨から、その古典特有の人間性・風土性・時代性などの内面的要素も考慮した意臨にも挑戦を。期待大。

条幅随意

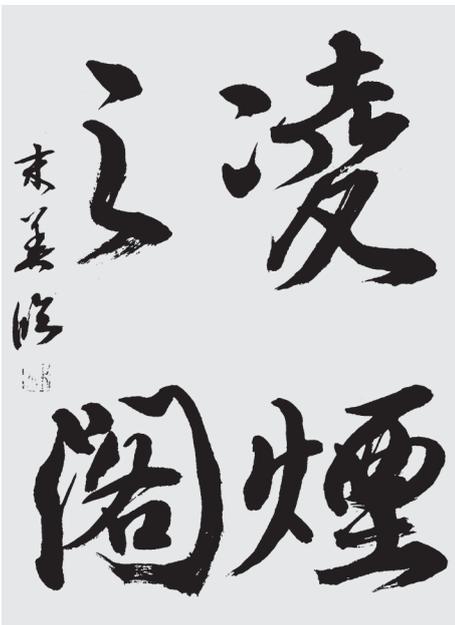
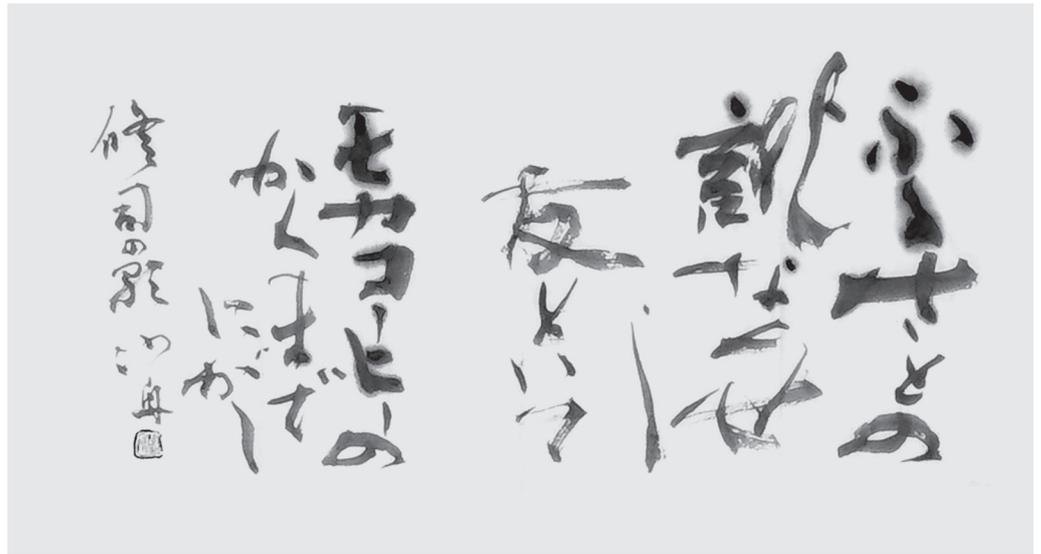
師範正 末森 水苑

短歌を上句と下句に分け、半切の上下二ブロックの大膽な構成に感性の若さを感じる。「温故知新」時代は常に変化する。自由な感性の挑戦は大切にしたい。「せ」「排」は一考を。

半折 ½横

成家 下川 沙舟

今回の青墨は今一步の色だが、手本の墨色とはまた違った詩情となった。詩からくる印象は大切に、みんな違ってみんないい。表現方法は自由である。日本の美しいことばは、書の中にも生きている。



半紙規定

成家 安仲 夕蟬

軸のしつかりとした骨力のある線で、一気呵成に纏めた成家らしい自信に満ちた作品で、心の充実を感じる。「人生は山を登るが如し。」転がり落ちるは早い。毎日一歩づつ前進を。

半紙随意

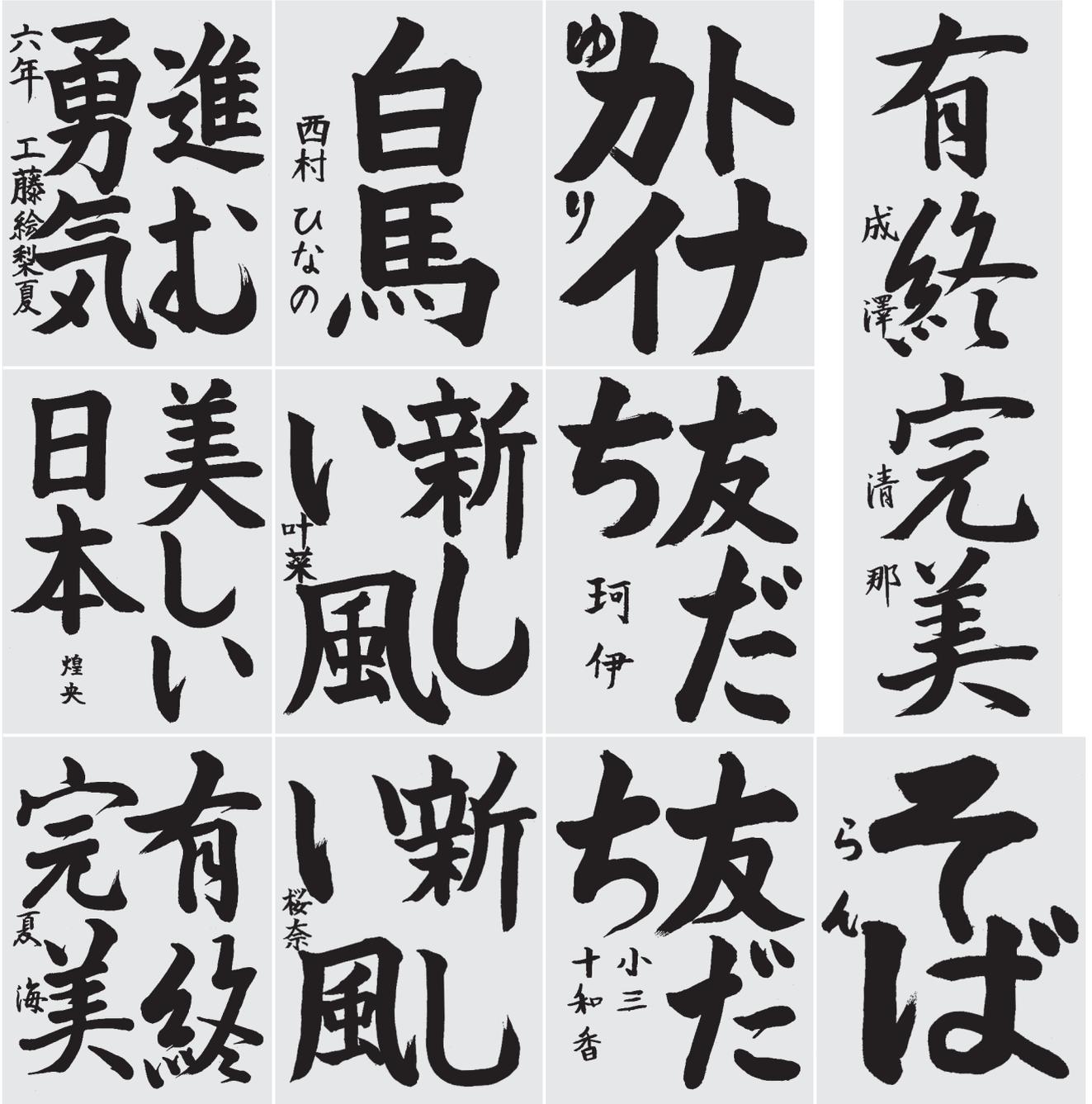
師範 田中 馨風

王羲之の用筆を規範に一気呵成に書き進んだリズムに乗った線は生命感に溢れ、濁りがない。手慣れた筆捌きと正統派の拘りと自信を感じる。今後更なる新しい世界観に期待する。

半紙随意(臨書)

成家 植井 末美

顔真卿の用筆をよく理解し、運腕大きく、重厚な線と、息の長い深い線が、彼の人間性とその時代を感じる。また、気魄に満ちた筆致が作品に躍動感と存在感、自信さえも感じさせる。



学生部条幅 (1/4)

小二 準特待生 成澤 清那

書き始めから名前まで集中力を切らさず、お手本を良く見て伸びやかに書けています。名前も見事です。日頃の練習の成果が作品に表れています。期待大!

後藤 藍 小一 7級

お手本をよく見てげんきよく書けています。おけいこの楽しさがさくひんにあらわれています。

近藤 ゆり 小二 準4級

基本のふでづかいがしっかりとしてきています。一字一字お手本をよく見て名前までとてもじょうずに書けた作品です。

田中 珂伊 小三 三段

力強い線で元気がよく書けています。名前もしっかりと書けています。この調子です。さらに上の段を目指してがんばってね。

たかしま十和香 小三 準1級

のびやかな線でもともじょうずに書けましたね。特に「友」の形、バランスがすばらしい。名前の練習もがんばってね。

西村 姫菜乃 小四 準五段

お手本の細かな所までよく見て、バランスよく、とても上手に書けています。さすが上位有段者の作品です。期待大!

徳丸 叶菜 小五 六段

半紙いっぱい伸びやかに、形よく書けています。今後は、線に勢いが出るように練習し、「特待生」を目指してがんばってね。

上村 桜奈 小五 四段

漢字と平仮名のバランスが良く、明るく伸びやかに書けた作品です。名前の練習もしっかりとできています。期待大です。

工藤 絵梨夏 小六 準六段

書き始めから名前まで、とても完成度の高い見事な作品です。この調子で、「特待生」を目指して頑張ってくださいね。

栗原 煌央 中一 準特待生

丁寧な筆づかいで明るく形良く書けています。今後は、伸びやかさが増すように思い切りの良い線を期待します。頑張ってくださいね。

小田 夏海 中二・三 特待生

リズムに乗った自然な流れから生まれた線に勢いがあり、さすが「特待生」の作品です。大人顔負けの筆致が見事です。

# 硬筆部最優秀作品

(12月28日締切分)

(坂元紫香先生評)

段級  
氏名  
女の子が、森にい  
くと、むこうから  
おばあさんが、や  
つてきました。  
つが えまる

段級  
氏名  
木は上に生えている。えだ  
や葉をききえるために土  
の中で大きな根が広がり  
水分や養分を送っている。  
岡本 杏

段級  
氏名  
たかしは考え続けた。「じゃあ、  
この世に正義はないのだから  
か。みんな自分勝手に生きて  
いるだけなのか。それじゃあ、  
あまりにむなしすぎる。」  
篠原 詩織

段級  
氏名  
十月初めに、ぐうちゃんは小さな  
旅支度をして、「いそろう」を卒業  
してしまつた。出発の日、僕は、何て  
言つていいのかわからないままぐ  
うちゃんの前になつていた。  
大澤 菜々子

段級  
氏名  
花だんには、春に  
たねをまいたコス  
モスが、いちめん  
にさいていました。  
大池 そうろう

段級  
氏名  
木は上に生えている。えだ  
や葉をききえるために土  
の中で大きな根が広がり、  
水分や養分を送っている。  
南 舞香

段級  
氏名  
みんなが満足できるように活動  
の目的や条件を考え、話し合いの  
見通しをもちましよう。グルーブ  
の中で、司会や記録係などの役  
割を決めて話し合います。  
六年  
宇都宮 千尋

段級  
氏名  
種のない、果物のほうがかんこに好まれ、  
高品質も高い。楽なほうを好む  
人間を象徴するよう、話をす。  
くは、当たり前のように食べてもミカン  
も、もともと種のあるものでした。  
實政 奈々

段級  
氏名  
「もう、わしの病気はな  
おつた。百年も、二百年も  
長生きができるわい。  
と、わらいました。  
大島 綾乃

段級  
氏名  
たかしは考え続けた。「じゃあ、  
この世に正義はないのだから  
か。みんな自分勝手に生きて  
いるだけなのか。それじゃあ、  
あまりにむなしすぎる。」  
新江 綾香

段級  
氏名  
十月初めに、ぐうちゃんは小さな  
旅支度をして、「いそろう」を卒業  
してしまつた。出発の日、僕は、何て  
言つていいのかわからないままぐ  
うちゃんの前になつていた。  
大場 理世

段級  
氏名  
冬の墨屋の美しさは、ため息をつくこの頃、  
最近室を見上げています。  
年末年始の帰省にむけて、昨日早めの大  
掃除をして、たら、掃除機を出して、大変  
驚きました。三年前にあんなからお借りし  
いたフルウエルの掃除機、長期間忘れていた  
本当に申し訳ありません。今さらと思われ  
るかも、でも、本と共に、さやか、お詫言  
ひの品を同封させて、いただきます。  
葛 霞

## 書譜

こがえまる  
小一 準4級  
力づよい線、マ  
スいっぽいに、  
とてもげんきよ  
くかけましたね。  
これからもこの  
ちようしでおけ  
いこをがんばっ  
てね。  
大池奏一郎  
小二 準4級  
むずかしいペン  
をしようずにつ  
かって、一字一  
字でいねいにき  
れいに書いてい  
ます。名前もと  
てもしようずで  
す。  
大島 綾乃  
小三 二段  
お手本をよく見  
て、とてもじよ  
うずに書いてい  
ます。漢字とひ  
らがなのバラ  
ンスもよく、さ  
すが上位有段者  
の作品です。

岡本 杏  
小四 三段  
書き始めから名  
前まで集中力を  
切らさず、お手  
本と見間ちがう  
ほどとてもきれ  
いに書いていま  
す。今後がとて  
も楽しみです。  
南 舞香  
小四 三段  
お手本をよく見  
て、一字一字と  
ても丁寧い、  
形よく書いてい  
ます。日ごろの  
練習の成果が作  
品にあらわれて  
います。期待大。  
新江 綾香  
小五 五段  
ペンを上手に使  
い、書き始めか  
ら名前まで集中  
力を切らさず、  
完成度の高い作  
品が書けました  
ね。さすが上位  
有段者です。

篠原 詩織  
小五 二級  
お手本をよく見  
て、一字一字丁  
ねいに形良く書  
けています。上  
位有段者に負け  
ない力を持っ  
ています。がんば  
ってください！  
宇都宮千尋  
小六 六段  
力のこもった強  
い線、漢字と  
平仮名のバラ  
ンスが良く、丁寧  
に書いています。  
ペンの持ち方や  
姿勢に気をつけ  
て頑張ってください。  
大場 理世  
中学 特待生  
明るくすっきり  
とまとまりのあ  
る作品です。お  
手本と見間違  
うほど観察力が  
見事です。是非、  
一般部へも挑  
戦しましょう。

大澤菜々子  
中学 六段  
お手本の細部ま  
でよく観察し、  
ペンを上手に使  
って丁寧に書け  
ています。ペン  
を軽く握って書  
くと更に良くな  
ると思います。  
實政 奈々  
一般 師範  
文字の大小変化  
と自然な流れが  
優しい音楽を奏  
でているようで、  
白眉な明るい作  
品です。力みの  
ない筆致は日頃  
の努力の賜です。  
宮崎 茜霞  
一般 準師範  
迷いのないペン  
捌きと自然な流  
れ、そして完成  
度の高さにいま  
も感服していま  
す。日頃の熱心  
な練習の成果で  
す。期待大！